令和８年６月

各　位

一般社団法人　農業開発研修センター
会 長 理 事 増　　田　　佳　　昭
［公　　印　　省　　略］

令和８年度（通算第５０回）地域農業振興に関する研究会の開催について

拝　啓　時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、標記の研究会を別紙要領のとおり、開催します。当センターでは、地域農業の振興・活性化とＪＡの改革に貢献することを目的として、各種の研究会（研修会）を毎年開催しており、全国各地から多数の方々にご参集いただいております。

今年度の標記研究会は、先の「令和の米騒動」により明らかとなったこれまでの米政策および水田施策の諸課題にも触れつつ、地域農業を支えてきた関係団体・機関が“連携”により、地域が抱える諸課題の明確化を図りながら、地域農業の振興・活性化を図るための改革方向を探ることに焦点を当て、企画・開催します。

業務ご多忙の折とは存じますが、ご参加につき格別のご配慮を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。また、ご希望があれば本要領とは別にメールでもご案内いたしますので、関係部署・担当者の方にお渡しいただければ幸いです。

敬　具

令和８年度（通算第５０回）

地域農業振興に関する研究会開催要領

主催：一般社団法人農業開発研修センター

≪趣　旨≫

わが国の農業をめぐる情勢は、農家の高齢化、後継者・担い手不足など、依然、改善の兆候がみられません。特に経営の継続性から国が推し進めてきた集落営農法人数が、高齢化・担い手不足により統計開始以降初の減少に転じるなど、先行きの見通せない厳しい情勢となっています。一方で、食糧法の改正が今年６月に閣議決定されたこともあり、米価問題をはじめ、多様化する流通実態の把握や、備蓄制度の見直し、需要に応じた生産の促進などへの対応が急務となっています。

ＪＡグループにおいても、組合員の高齢化等による組織基盤の弱体化や、資材価格の高騰など厳しい経営状況にあります。そのような状況の下、第３０回ＪＡ全国大会決議では、ＪＡグループの存在意義として「協同活動と総合事業で食と農を支え、豊かなくらしと活力ある地域社会を実現する」ために、ＪＡのもつ総合力を活かしながら関係諸団体と連携しつつ、その存在意義を発揮していく必要があるとしています。

そこで、今年度の研究会は、先の「令和の米騒動」により明らかとなったこれまでの米政策および水田施策の諸課題にも触れつつ、地域農業を支えてきた関係団体・機関が“連携”により、地域が抱える諸課題の明確化を図りながら、地域農業の振興・活性化を図るための改革方向を探ることに焦点を当て、企画・開催します。

期　　間：令和８年８月２０日（木）～２１日（金）

会　　場：京都ＪＡビル　２０１・２０２会議室（アクセス参照）

対　　象：①ＪＡトップ層（トップをはじめ、営農経済事業担当常勤役員、新任役員など）や、ＪＡの部門管理層（営農企画部署の部課長）
②都道府県中央会・連合会・県本部、全国連の役員及び職員（特に管理職）
③地方自治体の農業・農政関連部署の担当者
④都道府県・市町村議会議員、事務局
⑤その他、関連する農業団体・行政機関などの役職員

定　　員：６０名程度

昼　　食：
２１日㈮に弁当（１，４００円（税込））を準備します。参加申込書からお申し込みください。

参 加 費：　（税込・一人当たり）

会　　員 <>内は、２名以上をまとめて申し込んだ場合の金額です。	４０，７００円＜３６，３００円＞
非　会　員 <>内は、２名以上をまとめて申し込んだ場合の金額です。	５１，７００円＜４６，２００円＞
会友（個人会員）に新規加入の場合 （令和８・９年度の会友会費10,000円を含む）	４５，７００円

注１：会員は、会員所属者および令和７年度以前からの会友（個人会員）の金額です。
注２：令和７年度以前からの会友（個人会員）の部分受講は、別途割引があります。

※年間予約コースについては別紙をご参照ください。詳しくはメールまたは電話でお問い合わせください。

懇 談 会：
参加者と講師の交流の場とした懇談会を予定しています。ご希望を申込書へご記入ください。
＜開催予定日時＞
と　　き：８月２０日（木）　１７：３０～（９０分程度）
と こ ろ：ホテル京阪京都グランデ「光林」（京都ＪＡビルより徒歩約５分）
懇談会費：７，０００円（消費税込）

申込方法：
①５ページの参加申込書をファックスで送信してください。
②受付完了通知をメールまたはファックスで送信しますので、参加費ならびにご希望の方は昼食代・懇談会費を下記の口座へお振り込みください。なお、振込手数料はご負担ください。

〈振込先〉
京都府信用農業協同組合連合会（京都信連）
本　　店　　当座　　口座番号：６３７３２９１
京都銀行　京都駅前支店　　普通　　口座番号：３１６４０７３
口座名義：一般社団法人農業開発研修センター（シヤ）（ノウギョウカイハツケンシュウセンター）

申込締切日：８月１３日（木）１７：００

当開催要領は、ホームページ（https://agridtc.or.jp/nittei.html）に掲載しています。

キャンセルポリシー：
お申し込み後のキャンセルはキャンセル料が発生しますのでご注意ください。
・８月１３日（木）　１７:００まで …… １０,０００円
・８月１３日（木）　１７:００以降 …… 全額

問い合わせ（申し込み）先：
一般社団法人農業開発研修センター　研究会受付係

〒６０１－８５８５　京都市南区東九条西山王町１（京都ＪＡビル）
ＴＥＬ：０７５－７４８－０７０３
ＦＡＸ：０７５－７４８－０８５５
E-mail：seminar@agridtc.or.jp
ＵＲＬ：https://agridtc.or.jp

アクセス：ＪＲ京都駅（八条口）より徒歩５分

（ＱＲコードもご参照ください）

日　程：

≪第１日目≫　８月２０日（木）

13:30～13:40　**開会あいさつ**　　一般社団法人農業開発研修センター　会長理事　　増田　佳昭

13:40～13:50　**オリエンテーション**

一般社団法人長野県農協地域開発機構　研究所長　　小松　泰信　氏
（岡山大学名誉教授）

13:50～15:10　**報告Ⅰ　食糧法の改正と水田政策の見直し、ここが問題**
（うち質疑応答約10分）

東京大学大学院　農学生命科学研究科
教　授　　安　藤　光　義　氏

○専門は農政学、農地制度論。編著書『基本法見直しは日本農業再生の救世主たりうるか:農政の新たな展開方向をめぐって』、『食料安保とみどり戦略を組み込んだ基本法改正へ:正念場を迎えた日本農政への提言』（筑波書房）等多数執筆。
○「令和の米騒動」で露呈したわが国の米政策および水田政策の問題点は何か
○「生産調整」から「需要に応じた生産」により過剰生産を抑制して価格安定化を図るための課題は何か

15:10～15:30　休　　憩

15:30～16:40　**報告Ⅱ　値上げ時代の農産物マーケティング**
（うち質疑応答約10分）　　**－適切な価格転嫁を目指して－**

公益財団法人流通経済研究所
常務理事・主席研究員（事業・研究統括）　　折　笠　俊　輔　氏

○精密機器メーカーを経て2010年より現職。日本農業経営大学校　非常勤講師（マーケティング・営業戦略）。小売業の購買履歴データ分析、農産物の流通・マーケティング、地域ブランド、地域流通、食を通じた地域活性化といった領域を専門。ＪＡや中央会主催の講演も多数登壇
○利益率を高めるための価格設定で必要なことは何かーチャネルの検討、販路開拓の見直し、顧客管理などにより価格転嫁の考え方ー
○適正価格に対する消費者の理解醸成を促すための課題と対応策ーコスト指標の策定による合理的な価格形成をめざしてー

17:30～19:00　懇談会

≪第２日目≫　８月２１日（金）

シンポジウム

「“連携”を軸とした地域農業の振興・活性化に向けて
－担い手づくり対策を中心に－」

9:30～ 9:50　**座長解題**

一般社団法人長野県農協地域開発機構研究所長
岡山大学名誉教授　　小　松　泰　信　氏

＜座長解題＞
○シンポジウムで議論したい論点と参加者に期待したいこと
○２つの実践報告の関連と意味

9:50～10:50 **実践報告①　持続できる地域農業の体制づくり**
－山口県での集落営農法人等の育成と関係機関の支援について－

山口県地域農業戦略推進協議会　事務局
主　査　　田　村　尚　志　氏

○平成19年頃より山口県では、関係機関が連携し集落営農法人の育成に取組み。平成21年に山口県集落営農法人連携協議会（事務局：ＪＡ山口中央会）を設置。現在、約300法人が設立
○法人構成員の高齢化に伴う対応として、平成27年より集落営農法人連合体の育成（現在18連合体）を進める。また、県独自の担い手支援日本一対策として、新たな法人就業者の確保（県独自の法人就業支援制度、県立農大での社会人研修制度の充実）を推進。さらに、令和５年には山口県立農業大学校に土地利用学科（集落営農法人就業コース）を新設
○現時点の課題として就業者受入法人の２極化や、受け入れた若者の定着率の向上等

10:50～11:00　休　　憩

11:00～12:00 **実践報告②　わがＪＡの地域農業振興・活性化の取り組み**
－パートナーシップの形成による担い手支援の実践－

滋賀県　グリーン近江農業協同組合　営農事業部
部　長　　今　村　和　哉　氏

○平成６年10月に誕生した２市（一部除く）２町を管内とするＪＡ。組合員総数24,008名（うち、正組合員7,749名）、貯金3,156億円、貸出金566億円、長期共済保有高5,391億円、販売品販売高112億円、購買品供給高51億円（令和７年度実績）
○管内に128のＪＡ出資法人（令和６年度実績）。法人とのパートナーシップを形成しＪＡ出資法人連絡協議会を設立・運営
○集落営農法人間の連携強化による経営発展と法人化を目指す集落営農の取り組みを積極的にサポート・支援

12:00～13:00　昼　　食

13:00～14:10 **討　　論**
（座　　長）前掲　　小松　泰信　氏
（ｺﾒﾝﾃｰﾀｰ）京都府農林水産部理事（経営支援・担い手育成課長事務取扱）
川原崎尚志　氏
摂南大学　農学部　　准教授　　川﨑　訓昭　氏

14:10～14:40　休　　憩

14:40～15:40 **報告Ⅲ　生産振興を柱とした全農の施策について**
（うち質疑応答約10分）

全国農業協同組合連合会　耕種資材部
部　長　　住　田　明　子　氏

○ＪＡ全農入会後、農業技術センター農薬研究部に配属。営業開発部営業企画課長、耕種資材部農薬課長、耕種資材部次長を歴任。2023年４月よりＺＭクロッププロテクションに出向、同年６月代表取締役社長に就任。2026年４月に現職職
○生産者の営農継続を支え、国内の生産基盤を維持するための全農の取り組み

15:40～15:50　**閉会あいさつ**　一般社団法人農業開発研修センター　常務理事　　瀬津　　孝

注）講師の都合等により、報告時間等が変更になる場合があります。予めご了承ください。

農業開発研修センター　行き
〈ＦＡＸ：０７５－７４８－０８５５〉

令和８年度（通算第５０回）地域農業振興に関する研究会参加申込書

〒　　ＴＥＬ　　ＦＡＸ

ご 住 所：

貴機関名：

ご記入者（部課名）　　（ふりがな お名前）

部課・役職名	参加者氏名（ふりがな）	会友同時加入（希望者は○）	昼食(弁当)（希望者は○）	懇談会（希望者は○）
〈 記 入 例 〉 総 務・企 画 課 長	けんしゅう たろう 研 修 太 郎	○	○	○

※受付完了通知と請求書をメールで送りますのでメールアドレスは必ずご記入いただきますようお願いいたします。

@

〈送 金 状 況〉
１．振込（予定）先 ‥‥‥ イ．京都信連　ロ．京都銀行（該当する記号に○印をつけてください）

２．振込（予定）日 ‥‥‥　　月　　日

注１）必要事項をご記入のうえ、ファックスで送信してください。
≪申し込み順に受け付けます。定員に達した時点で締め切り、受付できなかった方には連絡します。≫
２）ご記入いただいた情報は、研究会の受付事務、参加者に配布する名簿作成、以後の研究会の案内のために使用し、それ以外の目的で使用することはありません。

農業開発研修センター研究会年間予約コース申込書

※１：ご希望されるコースに○印をお願いします。
※２：詳細は本要領に掲載しております案内パンフレットもしくは当センターホームページをご覧ください。

受講コース（該当する「コース名」および「申込人数」のカッコ欄に○印、または人数を記載）	コース名	申込人数
	（　　）Ⅰ フルコース	（　　）１名コース　（　　）２名コース
	（　　）Ⅱ 金融・共済コース	（　　）名
	（　　）Ⅲ 営農経済コース	（　　）名

令和８年度　農業開発研修センター研究会
年間予約コースのご案内

－“人づくり”が重要な今、役職員の年間研修計画にご活用ください－

研究会年間予約コースは、３つのコースを設定しています。各コースの特徴は、年間7回すべてのコースと、信用事業・共済事業を取り上げた金融・共済事業に特化したコース、そして営農事業に特化したコースとなっています。各部門の常勤役員、部課長が、連合会の事業研修にとどまらない幅広い視点から各事業を学ぶ機会として有益なものと考えていますので、是非ともご活用ください。

【メリット】・年間予約制のため受講費の事前確定、受講費の予算化が可能
・役職員の研修計画を担当部署で一括管理が可能

（参加費：税込）

Ⅰ　年間7回のフルコース（２名コース38万円、1名コース25万円）

当センターの年間7回の研究会に１名、ないし２名参加のコースです。ＪＡにかかわる諸問題を幅広く学ぶことができます。出席者の交替も自由なので、とりまとめ部署で、関係役職員の受講を計画的に実施することができます。

○農協問題総合研究会（7月開催）
○地域農業振興に関する研究会（8月開催）
○農産物流通研究会（9月開催）
○ＪＡ共済総合研究会（10月開催）
○ＪＡの女性組織活性化に関する特別研究会（11月開催）
○ＪＡの営農事業改革に関する研究会（１月開催）
○ＪＡ金融問題研究会（２月開催）

Ⅱ　金融・共済コース（１名15.4万円）

ＪＡの当面する課題について包括的に学ぶ農協問題総合研究会と、金融、共済の各研究会、それに特別研究会を加えた４回のコースです。金融担当常勤役員、金融関係部課長、幹部候補職員などの受講を想定しています。

○農協問題総合研究会（7月開催）
○ＪＡ共済総合研究会（10月開催）
○ＪＡの女性組織活性化に関する特別研究会（11月開催）
○ＪＡ金融問題研究会（2月開催）

Ⅲ　営農経済コース（１名14.3万円）

ＪＡの当面する課題について包括的に学ぶ農協問題総合研究会と、地域農業振興、農産物流通、営農事業改革の４回のコースです。営農経済担当常勤役員、営農関係部課長、幹部候補職員などの受講を想定しています。

○農協問題総合研究会（7月開催）
○地域農業振興に関する研究会（8月開催）
○農産物流通研究会（9月開催）
○ＪＡの営農事業改革に関する研究会（1月開催）

詳細は裏面に掲載しております連絡先までお問い合わせください。

一般社団法人農業開発研修センター

令和８年度農業開発研修センター研究会開催一覧（予定）

※現地視察等については参加費とは別料金

7月 農協問題総合研究会（通算第55回）

【時　期　・　期　間】7/15（水）～17（金）　３日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（組合長・理事長、専務など）、企画担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補
【参　　加　　費】会員・会友：59,400円　　非会員：89,100円

ＪＡ関係者の意識改革と資質の向上を狙いとするとともに、今後のＪＡ運動の展開方向と展開条件を総合的に解明するため、先進ＪＡや専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

8月 地域農業振興に関する研究会（通算第50回）

【時　期　・　期　間】8/20（木）～21（金）　２日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（営農担当役員など）、営農経済担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、市町村議会・農政担当部署
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

地域農業振興計画立案・推進関係者の資質の向上を狙いとするとともに、地域農業振興・活性化の課題と対応方向を解明するため、先進事例や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

9月 農産物流通研究会（通算第57回）

【時　期　・　期　間】9/10（木）～11（金）　２日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（営農担当役員など）、営農経済担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ部会リーダー
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

農産物流通に関わる関係者の資質向上と課題解決力の強化に資するため、先進産地や流通業界の専門家等からの多彩な報告とシンポジウムを実施する。開催期間中に現地視察を予定。

10月 ＪＡ共済総合研究会（通算第33回）

【時　期　・　期　間】10/21（水）～23（金）　３日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（共済担当役員など）、共済担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補
【参　　加　　費】会員・会友：59,400円　　非会員：89,100円

ＪＡ運動とＪＡ経営の双方の視点からＪＡ共済の今日的課題を解明するとともに、今後の事業戦略確立の方向性を探るため、先進ＪＡや専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

11月 ＪＡの女性組織活性化に関する特別研究会

【時　期　・　期　間】11/19（木）～20（金）　２日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層、幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補、都道府県農協指導検査部署担当者
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

ＪＡの女性組織活性化のあり方について企画内容に力点を置き、事例報告や専門研究者等からの報告と重要課題をテーマにしたシンポジウム方式を採用して実施する。

1月 ＪＡの営農事業改革に関する研究会（通算第５回）

【時　期　・　期　間】1/21（木）～22（金）　２日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（営農担当役員など）、営農担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

地域農業振興・活性化の課題（地域農業振興計画の策定・実践を含む）の解明とＪＡの営農経済事業の改革方向を探るため、先進事例や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。開催期間中に現地視察を予定。

2月 ＪＡ金融問題研究会（通算第45回）

【時　期　・　期　間】2/ 4（木）～5（金）　２日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（信用・共済担当役員など）、信用・共済担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

ＪＡ金融関係者の資質の向上を狙いとするとともにＪＡ金融をめぐる構造的諸問題を解明するため、事例報告や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

【連絡先】〒６０１－８５８５
京都市南区東九条西山王町１　京都ＪＡビル内
一般社団法人農業開発研修センター
ＴＥＬ：075－748－0703　　ＦＡＸ：075－748－0855
Mail　：info@agridtc.or.jp
ＵＲＬ：https://agridtc.or.jp/